

「とちまるるショップ」に25万人

県産売り込みに一役

一月
リカ
ツカ
イ業
ス開

県初のアンテナショップ「とちまるるショップ」が、東京スカイツリー（東京都墨田区）

の商業施設に開業して22日で1カ月が経った。同ショップには1日平均約8500人が

来場しており、県や県産品の売り込みに一役買っている。

県観光交流課によると、5月22日の開業から30日間で25万6000人が訪れたという。1日平均は8534

天然のかき氷



大勢の客が行き交う「とちまるるショップ」

人。売上金額は1729万8911円で、1日平均は57万6630円にもなる。

とちまるるショップの運営会社「ファーマーズ・フォレスト」の松本謙社長は「順調に推移している」と笑顔だ。

松本社長によると、売れ筋商品はとちおとめのジェラートや日光の天然水のかき氷、野

菜などの農産物という。さらに、しもつかれやレモン牛乳もよく売れるという。「栃木の郷土料理を食べてみよう」と県外客が買っていく」と分析する。

また、商品を購入した人が「これが生産された町はどこにあるのか」と観光パンフレットを持ち帰ることが多くなったとも。さらに「週に何度も訪れるリピーターも増えてきた。そうした方は漬物や調味料など日用品を購入します」と手応えを感じている様子だ。



松本社長は「売れるもの、求められないものの傾向がこの1カ月で分かってきた。それを生産者に持ち帰って商品開発につなげた」と意欲を語った。

売れ筋のしもつかれとレモン牛乳を手にする松本謙・ファーマーズ・フォレスト社長―東京都墨田区のとちまるるショップで

【小野博宣】